

事業名 **こどもたちと創り育む
山手特定土地区画整理事業での
多自然型調整池**

ワークショップ形式による地域住民の意見を反映し、自然林を保全しつつ水辺景観を復元させた調整池公園づくり

受賞機関 **都市基盤整備公団中部支社
名古屋北部開発事務所**

事業実施期間 平成9年11月13日～平成12年3月29日

事業費 373百万円

事業等の特徴

文部省の「青少年の地域エコプログラム推進事業」を受けて地元教育関係者及び小学校児童を中心に東山エコプログラム運営委員会が発足、地元団体と実施機関が連携して自然や湧水を生かした調整池公園をつくったことが特色である。整備にあたってはワークショップ形式で検討・提示された案を受け、管理者となる瀬戸市と調整し、また、維持管理やコストも考慮して設計に反映、自然を生かした技術的にも工夫された施設となった。この調整池公園は完成後も定期的な住民による手入れや小学校の自然観察、体験学習の場として利用されるなど、地元の活動意識も高く活発に利用されている。

事業の概要と利用者等の評価

やまて坂調整池は、愛知県瀬戸市西部丘陵地に、都市基盤整備公団が土地区画整理事業により開発した面積27.7ha、計画戸数790戸、計画人口3,000人のニュータウン内にある。当調整池整備事業は、雨水の防災調整機能に加え、生態系の復元や景観形成に資するとともに、地域住民の意見を計画に反映させた事業であり、具体的には次のとおりである。

(1) 自然観察池を復元・創出させた調整池公園づくり

平成5年当初の都市計画説明時より、地域住民から自然観察池を復元するよう強い要望があったことを踏まえ、調整池を自然観察池として兼用することとした。

(2) ワークショップ形式による地域住民参加型の調整池公園づくり

文部省の「青少年の地域エコプログラム推進事業」を受けて、平成10年夏に地元自治会、小学校児童、PTA、瀬戸市等地域住民が一体となり東山エコプログラム運営委員会が発足したのを契機に、調整池の設計に対する要望意見を取り入れた。



植栽風景



調整池
ワークショップ

自然観察池を復元する地元要望を計画に反映させた結果、雨水の防災調節機能に加え、自然林を保全活用して散策路を設置し、湧水を活用した水辺景観を復元することにより、野鳥や植物の生息の場を再生することができ、生態系の復元を成功させたことや良好な景観を形成したことは、技術的にも意義が高い。設計段階においても、ワークショップ形式による地域住民の意見を反映させたことに加え、完成後も、東山エコプログラム運営委員会を主体にした地域住民が定期的に手入れしたり、小学校児童による自然観察・体験学習の場として利用されている。

審査委員会委員の意見等

- ・他省庁との連携と完成後の効果的な活用がなされている。
- ・環境教育という視点から評価できる。
- ・まちづくりは担い手づくりが継続の鍵であると考えられ、その点大変意味深い活動だと思う。維持管理のうえでのコストダウンに意を払った点を評価したいと思う。
- ・住民参加型の事業が、コミュニティ形成や顔なじみの関係づくりにも役立つと考えられる。
- ・地元自治会と行政に加え小学校の児童、PTAを加えた運営委員会により事業が進められたことは評価できる。また、写真や新聞記事などから小学校児童の積極的参加が見て取れる。
- ・公共事業の進行過程で総合学習を組み込み、子供たち、教師やPTAの理解を深めた。この点は、全国の公共事業現場に浸透させるべき喫緊の課題であり、その先行事例である。

受賞賛助会員 (株)奥村組